関西

布型電極 心拍など計測

住江織物など 植物性繊維使う

着用型端末用

カーペット大手の住江織物は、日立造船と心拍など生体情報を計測するのに使う布型の電極を共同開発した。植物性の繊維を使い、肌に優しいのが特徴で、機器メーカーなどと組むことで、ウエアラブル端末などとして2020年にも実用化を目指す。工場や物流などの現場での活用を想定している。

日立造船が杜仲（とちゅう）茶の原料となる木「トチュウ」の種からバイオ素材「トチュウエラストマー」を抽出。強度が高く、耐衝撃性にも優れる。

住江織物はこのバイオ素材を溶液に溶かし、電圧を掛けて数百ナノ（ナノは10億分の1）メートルの太さの繊維に加工。銀でメッキ加工した導電性のナイロンの織物の上に付着させた。生体情報を計測する布型の電極素材は各社が取り組んでいるが、植物由来の繊維を使うのは珍しいという。

住江織物は今後、生体情報を扱う機器のメーカーなどのパートナーを探す。20年にはリストバンドのような形にして、工場や物流の現場で作業員の筋肉の運動量などを計測。作業の効率化や適正化に役立てる機器などとして実用化に結びつける考えだ。

カーペットなどのインテリアを得意とする住江織物は、国内の市場は大きな拡大は見込めないとして、新規事業の開発に力を入れており、布型電極もその一環。日立造船はトチュウの機能を生かした製品開発を進めており、すでに3Dプリンター用のフィラメントやゴルフボールを製品化している。

タクシー車庫 駐車場に

アキッパ 昼間の不足に対応

駐車場シェアリングサービスのａｋｉｐｐａ（アキッパ、大阪市）はタクシー会社の車庫にある駐車場を22日から貸し出す。国土交通省の実証実験に参画して実施する。昼間は営業に出るタクシーが多く、スペースに空きができるため、これを貸し出すことで双方の収益につなげる。

「自動車車庫の有効活用に関する実証実験」は22日から3月21日まで。日の丸交通（東京・文京）、飛鳥交通（東京・新宿）、日本交通の子会社の東洋交通（東京・北）のそれぞれ都内の1拠点ずつを使う。周辺には体育館や公園があり、行事があった際の利用が見込めるほか、宅配事業者の配達時の利用を想定する。

国交省は実験を通じて課題などを洗い出す。実験は期間限定だが、実験参画を機にアキッパはタクシー会社との連携を進め今後関西も含めて約1000台の確保を目指す。アキッパは全国の会社や個人が持つ空き駐車場と利用者をネット上で仲介する。遊休不動産が活用できるとして阪急不動産など大手と提携が相次いでいる。

観光消費1.3兆円目標に

京都市が上方修正検討

20年、金額重視鮮明

京都市は2020年の観光消費額の目標を1兆3千億円に上方修正する方向で検討する。従来の目標は1兆円だった。長期滞在や体験型観光を促す仕組みを整え、1人あたりの消費額拡大を目指す。従来のように外国人宿泊客数の目標は設けず、客数より金額を重視する姿勢を鮮明にする。

19日に有識者会合を開き、観光振興計画を見直す案を示した。1兆3千億円の目標は10年の2倍に相当する。

京都市の観光客数が頭打ちとなるなかで消費額拡大が続く

（注）京都市調査。11～12年は震災の影響でデータなし

観光消費額は外国人を含む観光客が1年間で宿泊や食事、土産などに使った総額。京都市は従来20年に1兆円を目指していたが、16年に前倒しで達成した。行楽シーズンの混雑などで16年の観光客数は約5500万人で頭打ち傾向が鮮明になったが、消費額は右肩上がりで拡大している。

市は宿泊客の長期滞在や、西陣織など伝統産業の体験を促す施策を進める。バーや居酒屋など夜の魅力を充実させるほか、外国人客に対応した店舗の免税対応の簡素化なども探る。外国人を含む宿泊客1人あたりの消費単価を16年から20年までに4千円ほど増やしたい考えだ。

京都では外国人観光客などの急増に伴い、交通機関などの混雑、住民とのトラブルといった新たな問題が起きている。「14年に振興計画を策定した頃から環境が激変している」（京都市の糟谷範子観光政策監）ため、観光の満足度を高める施策を進める。

観光客のリピーター率や再来訪の意向をアンケート調査し、満足度を随時モニタリングすることも検討している。

古墳群、世界遺産へ推薦決定

堺市長「国挙げて支援を」

政府は19日、大阪府の「百舌鳥（もず）・古市古墳群」を国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界文化遺産に推薦することを閣議了解した。堺市の竹山修身市長は「大変うれしい。地元が一丸となってユネスコの諮問機関による現地調査に対応する」とコメント。「オールジャパンでの支援をお願いしたい」と訴えた。

政府は2月1日までに正式な推薦書をユネスコに提出する予定だ。ユネスコの諮問機関が今秋に現地を調査し、2019年5月ごろに登録の可否を勧告。同年夏のユネスコ世界遺産委員会で最終的に審査する。

同古墳群は百舌鳥古墳群（堺市）と古市古墳群（大阪府羽曳野市、藤井寺市）のうち、4～5世紀に築造された計49基。

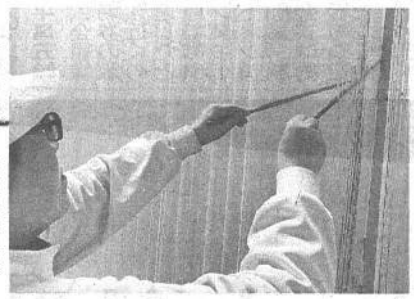
そうめん 冷気にさらす

生産ピーク 夏以外も人気に

奈良・三輪地区

奈良県桜井市を中心とする三輪地区で「手延べそうめん」の生産がピークを迎えている。かつてはそうめんを寒風にさらす姿が多く見られたが、老舗の三輪山本（桜井市）は10年ほど前から屋内干しに切り替えた。そうめんに温かいだしをかける「にゅうめん」も人気で、夏場以外の需要も取り込む。

冷たい外気を取り入れた同社の工場では職人が木の枠に掛けたそうめんを静かに直径1ミリほどの細さに伸ばし、長い箸で素早くさばきながら干す作業を繰り返していた。作業は2月末まで続く。



そうめんがくっつかないよう、長い箸で離していく

同社は2017年、創業300年を機にロゴやパッケージデザインを刷新。この効果もあって主力の極細麺「白龍」の売り上げは前年比16%増えた。電子レンジで簡単に調理できる「白龍にゅうめん」も9%増えた。

今年はだしメーカーと組み、だしとのセット商品などを展開し「消費者のニーズを反映できる（直営店などの）直販に力を入れる」（8代目の山本太治社長）方針だ。

自公民、西脇氏擁立で調整

京都知事選

4月8日投開票の京都府知事選を巡り、引退を表明した山田啓二知事（63）の後継として、同氏を支援してきた自民、公明、民進党が復興庁前事務次官の西脇隆俊氏（62、写真）を擁立する方向で最終調整に入ったことがわかった。

西脇氏は京都府出身。1979年に建設省（現国土交通省）に入省し官房長などを経て2015年に国土交通審議官、16年復興庁次官に就いた。17年7月に退任し現在は同庁顧問。中央官僚時代の人脈を生かし、国とのパイプ役となることも期待されているようだ。

次期知事選は任期満了に伴い3月22日に告示、4月8日に投開票される。4期16年にわたって府政を担った現職の山田知事は17年12月の府議会で不出馬を表明。その後、自公民の3党は後継候補擁立に向けて協議を重ねてきた。共産党などでつくる団体も候補者の擁立を目指している。